

# ラジオ波による 深部温熱を操る。

深部熱・温熱効果

疼痛の改善

筋痙縮の改善

関節性拘縮の改善



## ラジオ波温熱セミナー 鹿児島

**テーマ** 腰部・股関節痛への遠隔アプローチ法

**日時** 2019年11月24日（日）  
10:00～13:00（受付9:45～）

**場所** 天文館ビジョンホール 5F A  
鹿児島市東千石町 13-3 VISION BLD

**参加費** 3,000 円 **定員** 20 名

**お申込**

### 講師紹介



小林伸勝 (nobukatsu kobayashi)

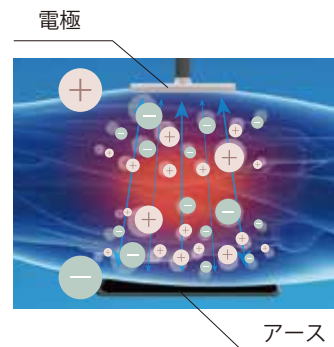
・伸整骨院（大阪府）院長  
・柔道整復師

弊社「酒井医療」のホームページよりお申込みください。トップページの「セミナーイベント」から「セミナー一覧」ページへアクセスすることができます。該当のセミナーからお申込フォームにご入力ください。

# 「抵抗の高い場所に温熱が集まる」特性

## ラジオ波温熱の原理

電極とアースで体をはさみ、+極と-極を1秒あたり数十万回変化させて体内の分子を振動させることで、分子同士の摩擦熱（ジュール熱）を発生させることで体を温めます。体外から熱を与えるのではなく、体内で熱を発生させる深部加温が可能です。そして従来の温熱機器と大きく異なるのは「抵抗の高い場所に温熱が集まる」というラジオ波の特性にあります。



## 2種類のプローブで様々なアプローチを実現

### 軟部組織

筋肉	筋膜
腱膜	血管
リンパ	



### 硬組織

靭帯	腱
関節	骨膜
骨	



## 高い疼痛緩和効果と 温熱持続性の実証

15分の施術で、温熱の届く深さは5~10cm、体内温度を3~5℃高めます。施術後も体内温度はすぐに下がることがなく、3~4時間維持される特長を持っています。腰痛を含めた様々な疾患に苦しんでいる患者※の81%に対して痛みの軽減に高い効果が認められています。



※ 引用文献：腰痛に対する静電容量の電気転送温熱療法の臨床効果

Clinical Effect of Capacitive Electric Transfer Hyperthermia Therapy for Lumbago

Kuniyasu Takahashi1), Tetsuo Suyama1), Makiko Onodera1), Shigeru Hirabayashi2), Nobuyuki Tsuzuki2), Li Zhong-Shi2) 1) Department of Rehabilitation, Saitama Medical Center, Saitama Medical School, Kamoda-Tsujidomachi 1981, Kawagoe City, Saitama 350-8550, Japan 2) Department of Orthopaedic Surgery, Saitama Medical Center, Saitama Medical School J.Phys.Ther.Sci.11:45-51,1999 © The Society of Physical Therapy Science

### セミナー会場



### お問い合わせ

酒井医療株式会社：03-5227-5775  
(当日のご連絡先：080-5940-5632)